



Topics

■新島八重と戊辰戦争講演会

中央公民館としらかわ歴史のまちづくりフォーラム共催による「新島(山本)八重」に関する講演会を開催します。この機会に八重の人となりを知り、大河ドラマ「八重の桜」をより一層楽しんでみませんか。

- 日時 5月17日(休)午後1時30分から
- 会場 市立図書館多目的ホール(道場小路)
- 講師 日本考古学協会員 石田明夫氏
- テーマ 「山本八重の人生」
- 入場料 無料(申込不要)
- 問い合わせ先 しらかわ歴史のまちづくりフォーラム ☎09395



しらかわ歴史のまちづくりフォーラム 理事 緑川源一さん

フォーラムは、歴史的な白河の遺産を再考察し、まちづくりにつなげることを目的に設立された団体です。

特☆集

新選組で、まちづくり!



「白河新選組同好会」の結成へ!

「白河に住み、幕末の歴史が好きなお人々には、新選組に対する思いは人一倍だと思います。白河と新選組の関係は今までPRしてこなかったのが残念でなりません。来年の大河ドラマである八重の桜が契機となり、新選組でまちづくりができればという機運が高まっています」と話すしらかわ歴史のまちづくりフォーラムの緑川源一さん。

京都府京都市、東京都日野市・調布市・足立区、千葉県松戸市、会津若松市、岩手県宮古市、北海道函館市などでは、新選組にまつわる歴史の再考のほか、全国サミットや地域イベントなどを通して地域活性化につながっています。

本市でもまちづくりの観点から、新選組同好会結成の機運が高まっており、同フォーラムが結成の準備を進めています。

「今後、会員で新選組装束を揃え、全国で開催される新選組に関するイベントに参加し、白河口の戦いのPRをします。また、市内で開催されるまちづくりイベントで新選組装束でよさこい踊りを披露したいと考えています」と緑川さんは話していました。

新選組まつり(日野市)の様子▶

特☆集 新選組で、まちづくり!



大河ドラマ「八重の桜」と連動した「市民によるまちづくり」が始動します




この機運、後進させようはなりません。ならぬことはならぬものです。

来年の大河ドラマは「八重の桜」。ドラマ前半部分で「白河口の戦い」のシーンが登場することが期待されます。それに合わせて、本市と関連の深い新選組をまちづくりに生かしていこうという機運も高まっています。

今月号では、「白河新選組同好会」の結成の動きや「白河口の戦い」での新選組の関わりについて紹介します。



日、白河の戦い




閏4月24日夜、薩摩・長州・大垣の新政政府軍が奥州街道芦野宿(栃木県那須町)より北進。25日未明、白坂宿を経て白河へ進撃しました。

新政政府軍が白坂口を攻め、皮籠原に展開するのを会津軍が三面から包囲し、新政政府軍を退却させました。戦いは、奥羽越列藩同盟軍(正式成立は5月3日)の大勝利となりました。

29日夕暮れ。新選組は担当していた関門詰めを仙台藩兵と交代。隊士は本町の柳屋に移り体を休ませました。柳屋は、本陣に次ぐ格式の旅籠、脇本陣でした。

川、白河の戦い




会津若松城下に集結した新選組に、閏4月5日、白河口への出動が指令され、新選組の副長助勤・三番隊長の斎藤一が隊長に任命されました。新選組は、同月22日に小峰城下に到着、白坂口関門に配置されました。

幕藩体制が崩れ、慶応4年(1868)正月、戊辰戦争の発端となった「鳥羽伏見の戦い」で、幕府軍とともに新選組が新政府軍の前に敗北。4月1日、下総流山(千葉県流山市)で土方副長と数名の隊士が政府軍に包囲されました。近藤局長は、新政府軍に捕らわれ、中山道板橋宿(東京都板橋区板橋)で処刑されました。

島田魁・中島登ら隊士6人とともに、元幕府陸軍奉行大島圭介率いる旧幕府兵ほかの諸隊に合流した土方副長は、この兵団の先鋒軍参謀として、宇都宮などを転戦。ほかの隊士たち約120人は、反政府の咎、会津を目指します。


転戦してきた土方副長らが会津若松城下に入りました。流山以来離散していた同志が慶応5年4月末日に集結したのでした。

川、白河の戦い




新選組は、京都守護職として京都の治安維持につとめていた会津藩主松平容保の配下にあつた特別警察隊です。奥州白河藩士の子沖田総司、白河口の戦いで新選組隊長となった齋藤一らは、新選組の結成にかかわった同志。近藤勇局長、土方歳三副長配下の幹部として、討幕過激派志士を取り締まり、恐れられました。

川、白河の戦い



5月1日未明、新政政府軍が動きました。薩摩・長州・大垣・忍軍が、白坂宿より三方向に分かれ進攻し、小峰城下へ突入しました。小雨降る昼下がりに、城は占領されました。同盟軍が大敗し、新選組も遠く会津領界の峠の勢至堂宿(岩瀬郡長沼町)まで退却したのでした。

川、白河の戦い



新選組は、この後8月21日、母成峠(耶麻郡猪苗代町)の戦いに参戦するも敗戦。新選組隊士も、いくつかの集団に分かれて会津若松城下に敗走しました。そして、新政政府軍が会津鶴ヶ城に迫ります。斎藤一たち新選組の残兵は、9月5日、郊外の如来堂(会津若松市神指町)で敵に襲われました。その後の消息には諸説があります。9月22日(9月8日より明治元年)、会津藩が降伏し、山本八重の人生が大きく変わります。


10月、新選組残兵のうち、隊士を拒み、なお抗戦を放棄しない隊士は、土方副長とともに、榎本武揚率いる旧幕府軍の軍艦で、仙台より蝦夷地箱館に渡航しました。これは、新選組終焉への序曲でした。

盟軍の兵は4,500人前後、対する新政政府軍の兵は、1,500人程度でした。

新選組は米村まで進み、同盟軍が敗走して引き揚げていた状況のなか、阿武隈川岸の台場で戦いましたが、屯営していた羽太村関屋まで退却しました。

7月1日、西方より会津・仙台・二本松兵らが、堀川沿いや城北の金勝寺山方面を攻撃しました。同盟軍はすでに白河から退却している部隊があり、金勝寺方面から攻め込める状況ではなく、完敗でした。

川、白河の戦い




小峰城を奪われた同盟軍は、城を新政政府軍から奪還するため、城下を包囲し、諸口から攻め入る総反攻を7回にわたり展開しました。最初の総反攻は、5月26・27日でした。

新選組は、会津街道白河領の飯土用(大信)から上小屋(大信)まで前進して、26日、大谷地を経て、小峰城下を北面から襲いました。翌27日は、会津の遊撃隊と合流して、金勝寺山・六反山で交戦しました。その後、猪苗代湖南の福良で休兵していた新選組に出動命令が出たのは、6月6日でした。福良を発ち、前回とは異なる馬入峠より大平一羽鳥一羽太の経路を進み、白河の北西部へ向かいました。

6月12日、小峰城を奪還するため、同盟軍は包囲総攻撃をしました。同

川、白河の戦い



新選組は、この後8月21日、母成峠(耶麻郡猪苗代町)の戦いに参戦するも敗戦。新選組隊士も、いくつかの集団に分かれて会津若松城下に敗走しました。そして、新政政府軍が会津鶴ヶ城に迫ります。斎藤一たち新選組の残兵は、9月5日、郊外の如来堂(会津若松市神指町)で敵に襲われました。その後の消息には諸説があります。9月22日(9月8日より明治元年)、会津藩が降伏し、山本八重の人生が大きく変わります。

10月、新選組残兵のうち、隊士を拒み、なお抗戦を放棄しない隊士は、土方副長とともに、榎本武揚率いる旧幕府軍の軍艦で、仙台より蝦夷地箱館に渡航しました。これは、新選組終焉への序曲でした。

※本文の月日の表記は、陰暦(旧暦)の表記です。